

生活からアートへ 工芸の旅を辿る ～工芸にまつわるアートプロジェクトを9、10月に開催～

■京都:Re-Search 実行委員会（事務局：京都府）では、「森から見る／考える“工芸とアート”」と題し、フィールドワークやワークショップ、展示を通じて「工芸」の成り立ちからアートへの発展を紐解く企画を9、10月に開催しますので、周知及び当日の取材をお願いします。

■参加者は8月10日（月）から募集します。（各回先着順）

京都の工芸は、木や漆など自然の恵みに支えられて発展してきました。本企画では、森でのフィールドワークや商店街での展示を通じて、工芸の原点から現代アートまでを辿ります。

1 第1部：森から見る工芸—素材から道具が生まれるまで—（ワークショップ）

[申込要・参加費 500 円]

講師 工芸の森／^{たかむろさちこ}高室幸子、^{たかむろひさし}高室久志
日時 令和8年9月19日（土）、20日（日） 各10：00～16：00
雨天の場合は9月21日（月・祝）、27日（日）にそれぞれ順延
場所 ウィードの森 ※京都府立須知高等学校内 学校林
（住所：船井郡京丹波町豊田下川原 166-1）
定員 各回10名・小学生以上対象、低学年は保護者同伴のこと
内容 森で採取した素材を用いた道具作りを行います

2 第2部：町から考えるアート—道具がアートに変わるとき—（展示）

アーティスト ^{アップ・トゥー}UP²／^{いしいじゅんいちろう}石井潤一郎、^{かじはらみずき}梶原瑞生、^{おおたけい}おーなりりゅうじ、太田恵以
場所 シンマチサイト ※福知山市新町商店街内 旧さいとう家具店
（住所：福知山市下新3）

（1）メインプログラム（展示） [申込不要・無料]

会期 令和8年10月24日（土）～11月15日（日）の木～日曜日、
各日11：00～16：00
内容 漆の採取現場で組まれるやぐら、丹波漆を用いたコンテンポラリーアート等の展示
出品作品 URUSHI PROJECT「漆塗りのウルシの木」他

（2）展示会期中イベント

①オープニング交流会 [申込不要・無料]

日時 10月24日（土）17：00～19：30

②アーティスト・トーク [申込不要・無料]

日時 10月24日（土）17：00～、10月31日（土）14：00～
アーティストによる30分程度の作品解説等を行います。

③ワークショップ「道具がアートに変わるとき」 [申込要・参加費 300 円]

日時 10月25日（日）10：00～12：00／14：00～16：00

定員 各回15名・小学生以上対象

④トークイベント [申込要・無料]

- ・「グリーンなくらし」

日 時 11月1日(日) 14:00～15:30

登壇者 UP²、浅利美鈴氏(総合地球環境学研究所 副所長・教授)

定 員 20名

- ・「工芸の思考を拡張する」

日 時 11月15日(日) 14:00～15:30

登壇者 UP²

定 員 20名

3 今後の予定

第1部、2部の成果に係る展覧会を令和9年1月に京都市内で行う予定です。
詳細は後日お知らせします。

4 申込方法

申込フォーム又は電話(各回先着順)

受付期間 8月10日(月) 10:00～

〈申込フォーム〉

<https://forms.office.com/r/ORVKg58DTB>



〈電話〉※受付: 平日 9:00～11:30、13:30～17:00

075-414-4287(京都:Re-Search 実行委員会(京都府文化芸術課内))

5 主 催

京都:Re-Search 実行委員会(事務局:京都府)

(参考:「京都:Re-Search 実行委員会」について)

地域の人々が主体となって文化芸術活動に関わる環境づくりを促進するとともに、地域の持つポテンシャル、魅力をアートの視点から引き出すことにより、交流人口の拡大、地域の活性化に寄与することを目的に事業を実施する、京都府や市町村等で構成する団体。

過去の実施事業等については、以下サイトからご覧ください。

URL <http://kyotohoop.jp/program/chutan-nantan2026/>

(京都府域文化芸術情報サイト「KYOTOHOOP(きょうとふーぷ)」)



【本報道発表に関するお問合せ】

文化生活部文化芸術課 課長 松村 TEL 075-414-4216

課長補佐兼係長 井上 TEL 075-414-4279



森から見る／考える 工芸とアート

令和8年度京都府地域展開プロジェクト（中丹・南丹）

PART1

森のフィールドワークとワークショップ

「森から見る工芸

—素材から道具が生まれるまで— @ 京丹波町

9月19日 土、20日 日

各日とも 10:00 - 16:00

雨天の場合は、9月21日（月・祝）、9月27日（日）に順延

会場 ウィードの森（京都府立須知高等学校内 学校林）

講師 工芸の森／高室幸子、高室久志

PART2

展示／ワークショップ／トーク

「町から考えるアート

—道具がアートに変わるとき— @ 福知山市

10月24日 土 - 11月15日 日

11:00 - 16:00

会場 シンマチサイト（福知山市新町商店街内 旧さいとう家具店）

アーティスト UP2 / 石井潤一郎、梶原瑞生、おーなりりゅうじ、太田恵以

PART1

森のフィールドワークとワークショップ

「森から見る工芸 —素材から道具が生まれるまで—」@ 京丹波町

工芸の森

工芸の「藝」という旧漢字は、人が木の苗を捧げ持って植える姿を表した象形文字だと言われる。私たちはこの文字に、人が何かをつくり出すことの原初的な姿を見る。『工芸の森』とは、植える・育てる・いただく・つくる・つかう・なおすという循環を実践しながら、森の手入れや素材の採集、加工、ものづくりを通じて、素材が生まれる環境と、それを支える人々の営みとの関係性を身体を通して探究する活動の総称である。森を育むこととモノを作ることが一続きに営まれる社会のあり方を探りながら、平安京創設の際に木材を供給した素材の源流ともいえる、京都市京北地域を中心に活動を展開している。 <https://www.forest-of-craft.jp/>

講師プロフィール



工芸文化キュレーター
工芸の森・一般社団法人
パースペクティブ 代表
高室幸子
(たかむろ・さちこ)



木作家、ダンサー
高室久志
(たかむろ・ひさし)

PART2

展示／ワークショップ／トーク

「町から考えるアート —道具がアートに変わるとき—」@ 福知山市

UP2（アップ・トゥー）

UP2の前身である URUSHI PROJECT は、サイト・スペシフィックなインスタレーションを制作する現代美術作家・石井潤一郎、漆をはじめとする天然資源に対して技法や用途にとどまらない造形的アプローチを試みる漆芸家・おーなりりゅうじ、音楽と記号の再構築に関心を持って活動する梶原瑞生によるアート・コレクティブである。2020年より京都府福知山市夜久野地域に継承される漆掻きを主題に、自然循環と大量消費社会の関係を問い直す作品制作やリサーチを継続し、国内外で発表してきた。2026年には、身体表現を通して自己と他者の関係性を探求する太田恵以を新たなメンバーに迎え、UP2 (the second phase of URUSHI PROJECT) として活動を開始。インスタレーション、映像、音楽の実践、身体表現、工芸的手法を横断しながら、人間・自然・素材・文化の関係性を再考するプロジェクトを展開している。 <https://urushiproject.com/>

アーティストプロフィール



美術作家
石井潤一郎
(いしい・じゅんいちろう)



美術作家
梶原瑞生
(かじはら・みずき)



漆芸家
おーなりりゅうじ



美術作家
太田恵以
(おた・けい)

地域展開プロジェクトとは

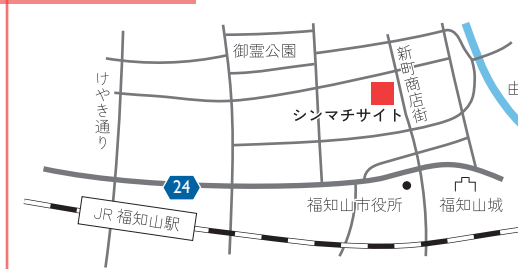
南北に長い京都府の各地域の多様な文化資源をアートの視点から捉え、価値や魅力の再発見によって地域へのまなざしを育むアートプロジェクト。誰もが主体的に文化芸術活動に参加できる環境づくり、シビックプライドの醸成とともに、文化芸術を通じて地域に活力を生み出す好循環の創出を目指しています。

PART1 会場 MAP



〒622-0231 京都府船井郡京丹波町豊田下川原 166-1
JR 園部駅から中京交通バス・停留所「須知高校前」下車すぐ
JR 和知駅から京丹波町営バス・停留所「須知高校前」下車すぐ
お車でお越しの場合、校内に駐車場あり
※バスをご利用の際は、事前に時刻表をご確認ください。

PART2 会場 MAP



〒620-0029 京都府福知山市下新3 (新町商店街) 旧さいとう家具店
JR 福知山駅北口より徒歩約15分
お車でお越しの場合、「福知山城公園観光駐車場」、「福知山市役所駐車場」をご利用ください。

イベント一覧

PART1 森から見る工芸—素材から道具が生まれるまで— @ 京丹波町

◆ 9月19日（土）、9月20日（日）／森のフィールドワークとワークショップ

PART2 町から考えるアート—道具がアートに変わるとき— @ 福知山市

◇ 10月24日（土）17:00 ~ 19:30 / オープニング交流会

◇ 10月24日（土）17:00 ~、10月31日（土）14:00 ~ / アーティストトーク

◆ 10月25日（日）① 10:00 ~ 12:00 ② 14:00 ~ 16:00 / ワークショップ「道具がアートに変わるとき」

◆ 11月1日（日）14:00 ~ 15:30 / トークイベント「グリーンな暮らし」

◆ 11月15日（日）14:00 ~ 15:30 / トークイベント「工芸の思考を拡張する」

いずれも 8月10日（月）より受付開始

※先着順。定員になり次第締め切ります。

◆ 印のイベントのお申込みはこちらから

お問合せ／お申込み

E-mail : soudan.bungei@pref.kyoto.lg.jp

TEL 075-414-4287（平日 9:00-11:30、13:30-17:00）

予告 展覧会開催のお知らせ

PART3 展覧会 森から見る／考える“工芸とアート”（仮）

本展では、森から工芸、アートへのつながりを読み解く作品の展示を通じて、環境と人、生活、アートの循環について考えます。

会期 2027年1月16日（土）～31日（日）予定

会場 THE TERMINAL KYOTO（ザ ターミナル キョウト、京都市内）

参加者募集
連続参加も大歓迎



詳細はこちら



ウェブサイト
KYOTOHOOP



森のフィールドワークとワークショップ

PART 1

「森から見る工芸 —素材から道具が生まれるまで—」@ 京丹波町

講師：工芸の森 / 高室幸子、高室久志

工芸は、身近な自然に触れ、「これは何に使えるだろう」と考えることから始まります。本プログラムでは、森を歩き、木や竹などの植物を観察・採集し、その性質を手がかりに道具や暮らしの中での用途を想像しながら「かたち」を立ち上げていきます。自然と人との関わりから生まれるものづくりの過程を体験しましょう。

日時 9月19日(土)、20日(日) 各日とも 10:00 ~ 16:00

雨天の場合は、9月21日(月・祝)、9月27日(日)に順延

会場 ウィードの森(京都府立須知高等学校内 学校林)

定員 各回 10名(小学生以上 ※低学年の場合は保護者同伴)

参加費 500円

申込みはこちらから

詳しくは裏面をご覧ください。



タイムテーブル

- 10:00 ~ 12:00 森のフィールドワーク
- 12:00 ~ 13:00 休憩(昼食)
- 13:00 ~ 15:20 ものづくりワークショップ
- 15:20 ~ 16:00 振り返り、終了

※タイムテーブルは変更する場合がございます。

講師・アーティストプロフィール、会場マップ、お申込み方法については裏面をご覧ください。

PART 2

展示/ワークショップ/トーク

「町から考えるアート —道具がアートに変わる時—」@ 福知山市

アーティスト：UP² / 石井潤一郎、梶原瑞生、おーなりりゅうじ、太田恵以

漆芸の材料である「丹波漆」と漆掻きの現場で組まれる足場「やぐら」を手がかりに、ものづくりの背景にある環境や営みに目を向け、工芸と暮らしのつながりを探ります。丹波漆を用いたコンテンポラリーアートの作品展示のほか、私たちの暮らしと資源の循環について見つめ直す創作ワークショップやトークイベントを開催します。

展示「町から考えるアート」

「丹波漆」の研究をもとに制作された URUSHI PROJECT の作品を紹介します。工芸特有の素材や技から展開されるコンテンポラリーアートの見どころや魅力を楽しみましょう。

会期 10月24日(土) ~ 11月15日(日)の
木・金・土・日曜日オープン

時間 11:00 ~ 16:00

会場 シンマチサイト
(福知山市新町商店街内 旧さいとう家具店)

入場 無料

出品作品 URUSHI PROJECT《漆塗りのウルシの木》ほか

会期中、右記のイベントを開催します。

申込みはこちらから

詳しくは裏面をご覧ください。



●会場はいずれもシンマチサイトです。



©URUSHI PROJECT

◆オープニング交流会

申込み不要・無料

日時 10月24日(土) 17:00 ~ 19:30

※17:00 ~ アーティストトークもあります。

◆アーティストトーク

申込み不要・無料

福知山市夜久野や大江でのリサーチを重ねてきた UP² のアーティストが、展示やプロジェクトについてお話しします。お気軽にお立ち寄りください。

日時 10月24日(土) 17:00 ~
10月31日(土) 14:00 ~

◆ワークショップ「道具がアートに変わる時」

要申込み

生活様式の変化によって工芸品の役割やあり方も変化し、自然素材に代わって広く使われるようになったプラスチックに目を向けて創作ワークショップを開催します。日常の生活から出る不要なプラスチックに新たな価値を見出します。

日時 10月25日(日)

タイムテーブル(各回共通)

①10:00~12:00

②14:00~16:00

- ・素材の扱いと加工の練習(40分)
- ・自由制作(50分)
- ・作品発表(30分)

※タイムテーブルは変更する場合がございます。

定員 各回 15名(小学生以上)

参加費 300円

◆トークイベント

要申込み・無料

夜久野でのリサーチをもとに作品を制作する UP² のアーティストやゲストを囲んで、海外での作品制作・発表のプロセスをはじめ、本プロジェクトについて語ります。

日時 ①11月1日(日) 14:00 ~ 15:30 「グリーンな暮らし」

ゲストスピーカー：浅利美鈴(総合地球環境学研究所 副所長・教授)

②11月15日(日) 14:00 ~ 15:30 「工芸の思考を拡張する」

定員 各回 20名